

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：下保 修

<b>事業名</b> 一般国道8号 <small>かしわさき</small> 柏崎バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> 自：新潟県柏崎市大字長崎 <small>かしわさき</small> 至：新潟県柏崎市大字鯨波 <small>かしわさき</small>		<b>延長</b> 11.0km
<b>事業概要</b> 一般国道8号柏崎バイパスは、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和、都市機能の活性化を図るとともに、主要幹線道路として重要な役割を担っている延長11.0kmのバイパスである。		
S62年度事業化	H元年度都市計画決定	H3年度用地着手
H5年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	740億円	<b>事業進捗率</b> 52%
		<b>供用済延長</b> 3.1km
<b>計画交通量</b>	26,200～47,300台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.7 (残事業) 4.7	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 269 / 795億円 <b>事業費</b> ：234/760億円 <b>維持管理費</b> ：35/35億円
	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 1,262 / 1,337億円 <b>走行時間短縮便益</b> ：1,197/1,260億円 <b>走行経費減少便益</b> ：49 / 59億円 <b>交通事故減少便益</b> ：16 / 18億円	<b>基準年</b> H19年
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.2～5.2（交通量±10%） 事業費変動：B/C=4.3～5.2（事業費±10%） 事業期間変動：B/C=4.2～4.9（事業期間±3年） 割引率変動：B/C=3.9～5.7（割引率±1%）		
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道等の混雑時旅行速度の改善が期待される） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）等 他11項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 柏崎バイパスは、慢性的な交通渋滞の緩和や高速道路ICへのアクセス向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、柏崎市、沿線町内会等で構成される柏崎バイパス事業促進協議会等より早期全線整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 現道8号沿線は市街化の進展や産業立地により、交通量は増加傾向にある。また平成19年7月に中越沖地震が発生。災害時に現道の迂回ルートとして重要な役割が期待される。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成17年度までに延長3.1kmの部分供用を行っており、現在、城東～鯨波間及び東原町～茨目間の暫定2車線供用（全線供用）に向けて事業を推進中である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 城東～鯨波間は平成20年代中頃の暫定2車線供用を目指し事業を推進。長崎～茨目間は平成20年代後半の暫定2車線供用（東原町～茨目間）及び4車線化（長崎～山本間）を目指し事業を推進している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> トンネル掘削土を路体盛土に有効活用する他、新技術、プレキャストの積極的な活用及び大型化（長尺化）、再生材を利用した舗装・路盤工の活用により、コスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。	
<b>事業概要図</b>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。